

第1回新教程制撮影会報告

開催日時&会場：2016年12月2日（金）9：00～16：00 志賀高原熊ノ湯スキー場
参加者（教程制作委員）：5名

荻原正治（全国技術教育局長）、岡田章男（全国技術部長、デモ）、桶谷政博（デモ）、
野瀬 孝（デモ）、森 康夫（デモ）

本報告書は、協議している内容をなるべく素で掲載したいと考えています。
ゆえに、まだ決まっていないこと、これから内容が変わることも考えられますので、その旨をご承
知の上でお読みください。

1. カリキュラム案に沿って撮影を実施

教程制作委員会で話し合ってきたことをベースとした荻原局長の案を元に、撮影を行った。
初歩滑走については、教程制作委員会で確認されている内容を実践。

教程制作委員会で決まっている初歩滑走のカリキュラム

- ① 直滑降からプルーク停止
- ② 斜滑降（階段登行の要領で）
- ③ 真下への横滑り（階段下降でズレル エッジングを学ぶ）
- ④ 斜滑降からプルーク停止
- ⑤ 斜滑降から重心を谷側へ持っていき、斜め前横滑りを経過して直滑降になり停止させる
- ⑥ 直滑降－プルークの開きだしの連続

「初歩の平行ターン」として、プルークによるターンから始まり、ベーシック平行ターン
へつながるカリキュラムの内容を確認した。

※現段階では、教程制作委員会の承認が取れていないので、この報告書で詳細なカリキュラムを掲
載することができません。

ベーシック平行ターンは、教程解説 DVD 第 10 作で紹介されているように、導入段階からはじ
まり、外圧を効果的に活用して内スキーも外スキーと同じ働きができる平行ターンの習得を目
指します。

洗練の平行ターンは、上下動を抑えターン前半伸脚により圧を加える連続ターンを目指すのは、
現教程と同じ。しかし、分かりやすく伝えるためには、もう少しそこへ導くためのカリキュラムの
検討が必要というのが 5 人の共通認識だった。

2. 雪上での教程制作委員会を開催

3月18日（土）～19日（日）は、全国スキー協デモ選が志賀高原熊ノ湯で行われる。

19日の大会終了後と、20日（祝）に予定されている撮影に同席してもらい雪上で一緒にカリキ
ュラム案を確認してもらうことになった。夜には今回撮影した映像を見ながら討議を行う。
委員会で決まったことは、4月の全国技術部会へ報告し、来シーズンのテーマとして展開していく。
これまでの教程制作の歴史も必ず雪上で検証をしながらやってきたので今回も同様に進めていく。

（報告：全国スキー協 技術部長 岡田章男）